



プリエディット & ポストエディットについて

株式会社ロゼッタ

目次

プリエディットとポストエディット	P.3
プリエディットとは	P.4
プリエディットの実例	P.6～8
ポストエディットとは	P.10
ポストエディットの実例	P.12～14
ポストエディットサービスの紹介	P.15～20
問い合わせ先	P21



プリエディット ・ ポストエディット は、

機械翻訳の力を最大限に引き出すために、

「人間」ができるひと工夫です



RozeTime



プリエディットとは

機械翻訳に原稿を投入する前に、人が手を加えて

翻訳結果の精度を上げる作業のことです

RozeTime



プリエディットを行うメリットと背景

- 機械翻訳の進化はめざましく、近年精度は飛躍的に向上していますが、それでも、「人には簡単に認識できるが機械には認識が難しい」という分野があります。
- 感情を読み取る必要のある文章や執筆者独特の文体で書かれた文章、また所謂「行間を読む」文章はそもそも機械翻訳にかけるのはお勧めしません。
機械には感情や背景を読み取る力はないので、原文通りの表現ができないからです。
- 形式的な文章、実務的な文章であったとしても、ひらがなで書かれた文章や体裁を整えるために文の途中で改行が入ってしまっている文章なども、機械翻訳は苦手としています。
ひらがなで書かれた「音訓」から漢字を想像したり、文の切れ目を判断するのが難しいからです。
- その苦手分野（文体・書き方）を事前に改善・解消しておき、より高い精度の訳出ができるようにする前処理のことを「プリエディット」と呼びます



プリエディットの事例①

ひらがなを漢字にする → 同音・同訓異字の区別を正確に

例文 はしをもつ → 箸を持つ

あめがすき → 雨が好き

きょうはえをみた → 今日、蠅を見た

→ 今日、絵を見た



プリエディットの実例②

不要な改行を削除する → 文の切れ目を正確に認識させる

例文 本日は雨が降らなくて
よかったですね。

→ 本日は雨が降らなくてよかったですね。

私の会社は週2日
リモートワークです。

→ 私の会社は週2日リモートワークです。



プリエディットの実例③

固有名詞は対訳登録しておく → ブレがなくなる

- 例
- | | | |
|----------|---|------------------------|
| 株式会社ロゼッタ | → | Rozetta Corp. |
| RozeTime | → | RozeTime |
| パワーポイント | → | PowerPoint ※マイクロソフト社製品 |



プリエディットの注意点

体言止めに注意！

機械は体言止めから時制を読み取れません！

- エクセル表を作成する際に「修正」など、体言止めを使用する際は注意が必要です
- ファイルの種類に関係なく、AIは取り込んだ文書の「センテンス単位」で翻訳を行います。つまり、前後の文脈は読み取れないのです。
- したがってその「修正」という言葉が、「修正対象（未実施）」なのか、「修正済み」なのかはAIには判別がつきません
- その場合は、最初から「修正対象」・「修正済み」のような項目にしておくこと、機械にも、人間の翻訳者にも優しい原文となります



ポストエディットとは

文章を機械翻訳にかけた後に「自社として、自然体である文章」

になるよう**人手をかけて修正すること**です。

RozeTime



ポストエディットを行うメリットと背景

- プリエディットを丁寧に行うことで、機械が翻訳しやすい文体や書き方に整え、精度を上げることができますが、そのまま「使える文章」になるわけではありません。
- 機械翻訳にかけた文章は、そのままでも「意味や内容を把握する」には十分であることがほとんどです。
(もし意味の通らない文章だった場合、それは「機械翻訳が苦手な書き方」かもしれません)
- しかし、その文章がこれまで社内で使われていた同じような文書と全く同じ表現がされているとは限りません。また、社内で確認するのには十分でも社外とやりとりをする文書として見ると、適していない場合もあります。また、機械とはいえ訳抜けや訳揺れを「ゼロ」にすることはできません。
- そんな時に、機械翻訳による訳出文を人の手によって修正する作業を「ポストエディット」と言い、その文書の提供する範囲や文書の種類に応じて、どのレベルまで翻訳文面を修正するかも変わります。
- 人手を完全に無くすことはできないですが、原文を一から人手にて翻訳するより一度機械翻訳を通すことで時間と工数の削減が見込めます。



ポストエディットの実例 ①訳出文

【原文】

このシート搬送装置では、供給ローラの回転を検出するためのロータリーエンコーダーを転用して搬送ローラの回転位相の原点位置が検出されるため、シート搬送装置の大型化を伴わずに搬送ローラの回転位相の原点位置を検出することが可能となり、コストを抑制できる。

【機械翻訳結果】

In this sheet transfer device, since the origin position of the rotation phase of the transfer roller is detected by diverting the rotary encoder for detecting the rotation of the supply roller, the rotation phase of the transfer roller is not accompanied by the increase in size of the sheet transfer device. It becomes possible to detect the origin position of, and the cost can be suppressed.

この機械翻訳結果では、**文法等が壊れている部分がある**ので
ポストエディットを行う事が適切です。

RozeTime



ポストエディットの実例 ②直訳



【機械翻訳結果】

In this sheet transfer device, since the origin position of the rotation phase of the transfer roller is detected by diverting the rotary encoder for detecting the rotation of the supply roller, the rotation phase of the transfer roller is not accompanied by the increase in size of the sheet transfer device. It becomes possible to detect the origin position of, and the cost can be suppressed.

【修正版：直訳】

In this sheet transfer device, since the origin position of the rotation phase of the transfer roller is detected by diverting the rotary encoder for detecting the rotation of the supply roller, **it becomes possible to detect the origin position of** the rotation phase of the transfer roller **is not accompanied by the without** increase in size of the sheet transfer device. ~~It becomes possible to detect the origin position of, and,~~ **so that** the cost can be suppressed.

<直訳の問題点>

- ・三文になっており冗長
- ・origin positionは「原点位置」の訳だが、originの方が英語として自然
- ・「転用」にdivertを使用しているが、divertはLongman英英辞典には”to change the user of something”と記載され、「使用方法を変える」意味。今回の文章では、ロータリーエンコーダーは供給ローラの回転と搬送ローラの回転位相の原点位置の検出に併用されているだけなので、divertは大げさ。useで良い。
- ・コストの「抑制」にsuppressは不自然



ポストエディットの実例 ③こなれた文章に校正

【修正版：直訳】

In this sheet transfer device, since the **origin position** of the rotation phase of the transfer roller is detected by **diverting** the rotary encoder for detecting the rotation of the supply roller, it becomes possible to detect the origin position of the rotation phase of the transfer roller ~~is not accompanied by the~~ without increase in size of the sheet transfer device. ~~It becomes possible to detect the origin position of, and,~~ so that the cost can be **suppressed**.

【直訳をさらに校正したもの】

The rotary encoder for detecting rotation of the supply roller is **used** in this sheet transfer device to detect the **origin** of the rotation phase of the transfer roller, which allows the sheet transfer device to detect the origin without increase in its size, leading to **reduced** cost.

ポストエディットを行ったことで、
社外にも提出できる**自然な文章**にすることができました。

RozeTime



プリエディットの概要は掴めましたでしょうか。
機械翻訳にかける際に1つでも実践いただければ幸いです。

またロゼッタでは、

ポストエディットサービス の提供もございます。



ポストエディットサービスは、

T-400画面上からご依頼することができます。

言語を選ぶ

【言語の選択】 [設定を変更する](#)

日本語→英語

翻訳のサービスを選ぶ

T-400 Lite

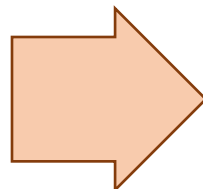
翻訳会社へ見積依頼
(特別割引10%~20%)

分野を選ぶ

【分野の選択】 [設定を変更する](#)

医薬・化学・環境

[確認画面へ](#)



原稿	aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa (and more)	変更
言語	英語 → 日本語	変更
分野	医学	変更
訳文スタイル	【文体】常体である(同) 【英字】お任せ 【数字】お任せ 【記号】お任せ 【括弧】お任せ 【句読点】お任せ	変更
統一用語	個人統一用語, グループ統一用語	変更
参考対訳	分野A	変更
コメント	連絡先・希望納期・翻訳対象範囲の特定など見積りに必要な情報をご入力ください。	

見積り依頼先

翻訳会社	各社の特徴
株式会社ロゼッタ	ポストエディット (T-400 + 翻訳者による修正) ポストエディットサービスとは T-400の結果を翻訳者がチェック修正して最終的な翻訳内容に仕上げます。 通常の人手翻訳と比べて、圧倒的な納期短縮とコスト削減を実現できます。 納期の目安 ・10,000文字：4営業日 (人手翻訳：7営業日) ・40,000文字：7営業日 (人手翻訳：25営業日) ・80,000文字：9営業日 (人手翻訳：50営業日)

翻訳実行画面より原稿や言語方向、分野をセットし、「翻訳会社へ見積依頼」→「確認画面へ」をクリック

株式会社ロゼッタ：ポストエディットを選択して「見積もり依頼」をクリックでご依頼できます。

※株式会社ロゼッタの提携翻訳会社がポストエディット作業を行います。

RozeTime



ポストエディットに適した文書は以下となります

■適切な分野と文書を確認ください

	専門分野	文書種類
○ 推奨	一般ビジネス 技術 金融 医療 等	マニュアル 論文 規程 議事録
× 非推奨	文化 歴史 等	書籍 メッセージ 等

ポストエディットサービスの紹介 ～2つのプラン～

■用途に応じて2つのポストエディットを用意

ライトPE

機械翻訳に対し、必要最低限の修正を行う
短納期型のサービスです。

正確性	流暢性	統一性
○	×	×

フルPE

ライトPEに加え、読みやすさと全体の
統一性もカバーします。**人手翻訳に近い
品質まで修正を加えるサービス**です。

正確性	流暢性	統一性
○	○	○

※担当営業にお問い合わせをいただくことも可能です。

RozeTime



ポストエディットサービスの紹介 ～納期について～

■ポストエディットサービスの利用による納期短縮の例

日英翻訳 文字数	ライトPE	フルPE	人手による翻訳
少量例)10,000文字	2 営業日	4 営業日	7 営業日
中量例)40,000文字	4 営業日 <small>*2名体制</small>	7 営業日 <small>*2名体制</small>	25 営業日
大量例)80,000文字	5 営業日 <small>*2名体制</small>	9 営業日 <small>*2名体制</small>	50 営業日

※担当営業にお問い合わせをいただくことも可能です。



ポストエディットサービスの紹介 ～コストについて～

■ポストエディットサービスの利用によるコスト削減の例

日英翻訳 文字数	フルPE	人手による翻訳
論文(6,000文字)	6～8万円	10～12万円
特許(10,000文字)	11～13万円	15～18万円
マニュアル(80,000文字)	90～110万円	140～160万円

※担当営業にお問い合わせをいただくことも可能です。

RozeTime



問い合わせ先

RozeTimeでのご質問をお待ちしております。

- ユーザーサイトRozeTimeでの**質問・要望**よりお気軽にご質問ください。
- 匿名性が必要な場合は community@rozetta.jp までお願いいたします。

ポストエディットをご希望される方は担当営業まで

- **貴社営業担当へご連絡**いただけます。
(担当者へポストエディットを検討している旨をお伝えください)
- 営業担当先がご不明な場合は確認致します。 community@rozetta.jp

製品に関しましての問い合わせはサポートまで

- サポートのメール連絡先 cs-support@rozetta.jp



さいごに

資料のご請求をいただきありがとうございました。

皆様により便利に活用いただくよう提案を続けてまいります。

ご希望やご要望、ご意見などがございましたら
お気軽にご連絡をいただければ幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

RozeTime

